

平成 25 年 7 月 1 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

インドネシア・インフラ金融公社との業務提携について

株式会社三菱東京UFJ銀行（頭取 ^{ひらの のぶゆき}平野 信行）は、インドネシア・インフラ金融公社（PT Sarana Multi Infrastruktur (Persero)、以下SMI）との業務提携に関する覚書を、本日締結致しました。

SMI は、2009 年 2 月に設立されたインドネシア政府全額出資の金融公社であり、同国のインフラ開発促進を目的として、電力、水、運輸、通信、道路・橋梁、石油・ガス施設、排水処理等のプロジェクト向けに投融資業務、アドバイザー業務、案件開発業務を行っています。

本提携により、三菱東京 UFJ 銀行と SMI は、インドネシアのインフラ案件向けファイナンスに係る包括的な協力体制を構築します。三菱東京 UFJ 銀行による米ドルや日本円等の主要通貨に加えて、SMI の地場通貨による長期の投融資機能を活用することで、本邦企業の同国におけるインフラ事業への投資を円滑にサポートします。

インドネシアでは、経済成長に伴うインフラ整備が喫緊の課題となっており、多くの本邦企業においてインフラ事業への関心が高まっています。また、日本・インドネシア両国の政府間においても「ジャカルタ首都圏投資促進特別地域（Metropolitan Priority Area）」を推進する等、官民をあげてのインフラ案件に注目が集まっています。

三菱東京 UFJ 銀行は、インドネシアにおいて支店開設 45 年の歴史を持ち、豊富な進出サポート実績と、幅広いお客様とのお取引関係を有しております。今般の SMI との業務提携によりインフラ事業展開を検討されるお客さまのニーズにお応えすることで、より一層充実した金融サービスをご提供できるよう努力してまいります。

以上